

2年目 小中一貫教育 ● 連載 No.16 ●

学校紹介 小中一貫校東原彦舎 東部校

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-12227



東部校 古賀 一哉 校長



今月号では、地域に信頼され、地域との連携強化を目指す学校づくりに取り組み東部校を紹介します。

■創立	平成25年4月1日
■校長	古賀 一哉
■副校長	森下 博一
■教頭	鶴田 直樹 (小)
■教職員数	48人

1. 学校の特徴

1. 一貫校の強みを活かした施設一体型（小中合同職員室）の小中一貫校です
2. やさしく元気で素直な子どもたちです
3. 地域の協力の中で、さまざまな体験活動を実践しています
4. 「看護学生」や「ホスピスを考える会」を交えた「生と死を考える授業」を実践しています
5. ボランティア活動を充実させています

【教育目標】

思いやりの心を持ち、
学ぶ意欲に満ちた児童生徒の育成

【めざす児童生徒像】

〈やさしい子ども〉

■心豊かで思いやりの気持ちを持ち、心身ともに健康で仲良く、明るく、たくましい児童生徒

〈ねばり強く最後までがんばる子ども〉

■自分の夢を持ち、実現に向け挑戦する児童生徒

〈よく学ぶ子ども〉

■進んで学習に取り組み、学ぶ喜びを感じ、意欲に溢れる元気な児童生徒



▲東部校『生と死を考える授業』
（外部指導者、看護学生も参加して行っています）

2. 学校経営の方針

- ◆小中一貫校としての教育活動をさらに充実させます
- ◆小中一貫校としての教職員の意識を高く持ちます
- ◆学校目標達成に向けた協働体制の確立と組織的な取り組みを実践していきます
- 1. 義務教育9年間を見通したカリキュラムにより、学習意欲の向上と学習規律を確立させて学力の向上を図ります
- 2. 小中一貫校の担う責務に対しての自覚を高め、資質向上を図るために教職員の研修を充実させます
- 3. 人間関係形成能力を育てる親和的な学級集団づくりと組織的対応の充実した生徒指導を推進します
- 4. 「生と死を考える授業」を柱として、命と生き方を考えさせ、心の教育を充実させます
- 5. 地域に根ざした特色ある教育活動を積極的に展開し、信頼される学校づくりを努めていきます

3. 学級編制等について （平成26年5月1日現在）

■小学部	226人	■総計	360人
■中学部	134人		
■部活動	女子バレーボール部（12人）、剣道部（19人）、野球部（15人）、サッカー部（23人）、柔道部（7人）、ソフトボール部（15人）、総合文化部（13人）		

4. 特色ある教育活動

- 確かな学力の向上・定着を図る
（ICT活用授業の推進、学ぶ意欲と言語活動の充実、少人数指導・丁寧等の工夫、学習規律の徹底と家庭学習の習慣化等）
- 心豊かで温かい人間関係を育成する
（特別活動の充実、「生と死を考える授業」の推進、人権教室の実施、道徳の時間の充実、キャリア教育の推進、トイレ掃除の実施、縦割り班活動等）
- 中期ブロックにおいて、小学部、中学部の滑らかな接続をめざした乗り入れ授業を実践する
（中学部から5、6年生への乗り入れ授業・国語・体育以外の全教科で実施）
- 効果的で、無理なく長続きする異学年交流等を計画的に推進する
（入学式、体育大会、ビワの袋かけと収穫体験活動、校外外クレーン作戦、ブロック集会、前期学習発表会、中・後期文化発表会、2分の1成人式、立志式、あいさつ運動、生と死を考える授業等）

夏休み教育キャンプ in 船山 2014

船山での自然とのかかわりを通じて、自分の役割と責任を学び、仲間とのふれあいの中で、夏休みの思い出づくりをしよう！

- 日時 8月6日(水)～8日(金)
- 会場 船山キャンプ場（荒天時は西多久公民館）
- 内容 生活・自然体験活動
- 対象者 市内小学4～6年生
- 申込方法 申込用紙は各学校で配布します。記入のうえ各学校へ提出してください。（申込用紙は各町公民館にも置いています）
- 参加費 1人2,200円（食材費など）
- 締切日 7月11日(金) 生涯学習課必着
- 問い合わせ 生涯学習課（中央公民館内） ☎74-3241



▲部活動新人戦に向けた毎日の健康づくりのための8年生対象の食育授業の様子